

小学校学習指導要領実施状況調査 各教科のペーパーテスト調査結果の概要と指導上の改善点（音楽）

- ・ 曲想の変化と音楽の仕組みを結び付けて聴くことや、世界各国の音楽の中から我が国の音楽を聴き分けること等については、相当数の児童ができています。
- ・ 楽曲の特徴を言葉で適切に表すことや、音楽表現に対する思いや意図を言葉で適切に表すこと、我が国の音楽の特徴をとらえて聴くこと等については、課題があると考えられる。

E-1. ペーパーテスト調査結果の概要（音楽）

1. 今回の改訂の基本方針に掲げられている事項

(1) 思考力・判断力・表現力等の育成

相当数の児童ができています (おおむね80%以上)	課題があると考えられる (おおむね60%未満)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞において、曲想の変化と音楽の仕組み(反復・変化)を結び付けて聴くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞において、楽曲の特徴を言葉で適切に表すこと ・ 歌唱及び器楽において、音楽表現に対する思いや意図を言葉で適切に表すこと

(2) 我が国の音楽文化に愛着をもつとともに他国の音楽文化を尊重する態度等の育成

相当数の児童ができています (おおむね80%以上)	課題があると考えられる (おおむね60%未満)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界各国の音楽の中から我が国の音楽を聴き分けること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の音楽の特徴をとらえて聴くこと

2. 今回の改訂で新設、学年及び学校を越えて移行した事項

相当数の児童ができています (おおむね80%以上)	課題があると考えられる (おおむね60%未満)
<ul style="list-style-type: none"> ・ (共通事項)ア「音楽を形づくっている要素を聴き取ることとその働きを感じ取ること」【新設】のうち、木管楽器・弦楽器の音色を聴き取ること ・ 「各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること」【新設】のうち、合奏の改善すべき点に気付くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (共通事項)ア「音楽を形づくっている要素を聴き取ることとその働きを感じ取ること」【新設】のうち、二つの旋律の重なり方や、長調か短調かを聴き取ること、旋律の特徴をとらえること ・ (共通事項)イ「音符、休符、記号や音楽にかかわる用語を理解すること」【新設】のうち、音符や記号を理解すること、聴き取ったリズムと楽譜を結び付けること

3. 従来より課題と指摘される事項や経年比較等の観点から把握・分析が必要な事項等

相当数の児童ができています (おおむね80%以上)	課題があると考えられる (おおむね60%未満)
<ul style="list-style-type: none"> ※ 特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜を見て階名を正しく読むこと【従来より課題】

E-2. 指導上の改善点（音楽）

1. 思考・判断し、表現する過程を重視した指導の一層の充実

- ・ 音楽の特徴を感じ取りながら、思いや意図をもって音楽表現をしたり、楽曲の特徴や演奏のよさをとらえて味わって聴いたりする、主体的・創造的な学習をより一層充実することが重要。
- ・ その際、児童の協同的な学習を促し、音と言葉によるコミュニケーションを図る指導を充実することが重要。

2. 音楽的な特徴をとらえる指導の改善・充実

- ・ 音楽を形づくっている要素を聴き取ったり、音楽活動を通して用語や記号を理解して楽譜を読んだりするなどして、聴覚と視覚を関わらせて音楽的な特徴をとらえる指導を充実することが重要。
- ・ 音符、休符、記号や用語については、表現及び鑑賞の活動の中で、実際の音と関連させてその意味や働きを理解したり、音符、休符、記号や用語を活用する場面を設けたりするなどして、児童が実感をもって理解できるように、指導方法を工夫することが重要。
- ・ 無理なく読譜に慣れることができるように、指導方法を工夫することが重要。

3. 音楽づくり・鑑賞の指導の改善・充実

- ・ 「音楽の授業で、音楽をつくるのが好き」と回答した児童は約5割である。また、音楽づくりの指導内容について「児童が身に付けやすい」と回答した教師は約2割である。
このようなことも踏まえ、音楽づくりについては、児童がつくる過程を楽しみながら実際にいろいろな音楽表現を試し、互いの表現のよさを交流するなどして、音楽をつくる喜びを味わうことができるように、指導方法を工夫することが重要。
- ・ 鑑賞については、想像したことや感じ取ったことと音楽的な特徴を結び付けて言葉で適切に表す指導を一層充実し、楽曲全体を味わって聴くことができるように、指導方法を工夫することが重要。

4. 我が国の音楽の指導の改善・充実

- ・ 我が国や郷土の音楽に対して、児童の興味・関心を高めるためには、和楽器に親しむなど体験活動を充実することが重要。
- ・ 我が国の音楽の特徴を感じ取りやすい音楽を教材として扱い、必要に応じて、諸外国の音楽と比較するなどして、我が国の音楽の特徴をとらえて聴くことができるようにし、音楽の多様性や音楽文化の理解につながる素地を養うようにすることが重要。
- ・ 唱歌やわらべうた、民謡などの日本のうたについては、児童がそのよさを感じ取って表現できるように、歌詞の内容や音楽を形づくっている要素を手掛かりに、楽曲に対する理解を深めるとともに、曲にふさわしい自然な歌い方で歌うことができるように、指導方法を工夫することが重要。

小学校学習指導要領実施状況調査 各教科のペーパーテスト調査結果の概要と指導上の改善点（図画工作）

- ・ 形の特徴を考えながら表し方を構想して絵に表すことや、自分たちの作品について表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること等については、相当数の児童ができている。
- ・ 表したいことを見付けて絵に表すことや、我が国や諸外国、暮らしの中の作品について表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること、複数の造形的な特徴を根拠に作品の印象を説明すること等については、課題があると考えられる。

F-1. ペーパーテスト調査結果の概要（図画工作）

1. 今回の改訂の基本方針に掲げられている事項

(1) 思考力・判断力・表現力等の育成

相当数の児童ができています（おおむね80%以上）	課題があると考えられる（おおむね60%未満）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 想像したことを絵に表す活動を通して、形の特徴を考えながら表し方を構想して表すこと ・ 自分たちの作品を鑑賞する活動を通して、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 想像したことを絵に表す活動を通して、表したいことを見付けて表すこと ・ 我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品を鑑賞する活動を通して、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること

(2) 言語活動を通して作品のよさや美しさを感じ取る鑑賞の能力の育成

相当数の児童ができています（おおむね80%以上）	課題があると考えられる（おおむね60%未満）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品から得た自分の印象について、形や色の造形的な特徴を一つとらえ、それを根拠に説明すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品から得た自分の印象や情景、全体的な感じなどを、形や色、動きや奥行きなどの複数の造形的な特徴を根拠に説明すること

2. 今回の改訂で新設、学年及び学校を越えて移行した事項

相当数の児童ができています（おおむね80%以上）	課題があると考えられる（おおむね60%未満）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品を鑑賞する問題において、形や色の造形的な特徴を一つとらえ、それを基に自分のイメージをもつこと（共通事項）【新設】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品を鑑賞する問題において、形や色、動きや奥行きなどの複数の造形的な特徴をとらえ、それらを基に自分のイメージをもつこと（共通事項）【新設】

3. 従来より課題と指摘される事項や経年比較等の視点から把握・分析が必要な事項等

相当数の児童ができています（おおむね80%以上）	課題があると考えられる（おおむね60%未満）
<ul style="list-style-type: none"> ※ 特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の作品を鑑賞し、全体的な感じを、複数の造形的な特徴を根拠に説明すること【従来より課題】（1(2)の「課題があると考えられる」と同旨）

F-2. 指導上の改善点（図画工作）

1. 発想や構想の能力を育成する指導の充実

- ・ 「図画工作の授業がどの程度できますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、前回の調査（H16）と比べて10%以上高い。このようなことから、表したいことを自分で見付ける学習を充実するなど、児童一人一人の創造性を一層高めることが重要。
- ・ 表したいことを見付けることと、表し方を考えたり計画を立てたりすることの違いや関連を理解し、表したいことを思い付くことができるよう、指導することが重要。
- ・ 材料を基に造形遊びをする活動と、表したいことを絵や立体、工作に表す活動をバランスよく指導することが重要。また、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力が共に高まるよう、指導することが重要。

2. 鑑賞の対象や鑑賞の方法を工夫した指導の充実

- ・ 我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などの鑑賞の活動について、より効果的な言語活動を取り入れるなど、一層充実することが必要。
- ・ 我が国の美術作品のうち、日本の伝統的な文化に関しては、材料や表現の方法と関連付けた表現活動を設定するなど、児童の主眼的な活動を取り入れると共に、興味をもつことができるよう、鑑賞の方法を工夫することが重要。
- ・ 暮らしの中の作品の鑑賞は、暮らしの中のものや造形として広くとらえ、児童が自分の暮らしと関連付け、生活を豊かにすることに関心をもつことができるよう、鑑賞の方法を工夫することが重要。

3. 造形的な特徴をとらえイメージをもつことに関する指導の充実

- ・ 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、自分のイメージをもつという指導事項（共通事項）についての一層の理解が重要。
- ・ 表現の活動では思い付いたことを進んで取り入れられるようにしたり、鑑賞の活動では根拠を明確にして語り合ったりするなど、造形的な特徴をとらえイメージをもつことを意識できるような学習活動を充実することが重要。

4. 共に学び高め合う場としての指導の充実

- ・ 児童が自分や友達の表し方や感じ方のよさや違いに気付き、活動を通して共感したり、多様性を感じ取ったりすることができるよう、指導を充実することが重要。
- ・ 造形遊びをする活動においては、児童の気付きや発想が、友達とつながり、活動を展開できるよう、指導を工夫することが重要。
- ・ 表したいことを絵や立体、工作に表す活動では、鑑賞の学習と関連させ、同じ材料や用具を扱う場面において、友達の表したいことや表し方の違いなどに気付き、お互いの表現のよさを感じ取ることであり、指導の工夫をすることが重要。

小学校学習指導要領実施状況調査 各教科のペーパーテスト調査結果の概要と指導上の改善点（家庭）

- ・ 家庭の仕事と分担に関する知識・理解や、材料や目的に応じたため方の工夫、場面・季節に応じた日常着の着方の工夫、物や金銭の計画的な使い方の工夫等については、相当数の児童ができている。
- ・ 家族の一員として協力することへの関心や、栄養のバランスを考えた1食分の献立の工夫、環境に配慮して物を無駄なく使うための工夫等については、課題があると考えられる。

G-1. ペーパーテスト調査結果の概要(家庭)

1. 今回の改訂の基本方針に掲げられている事項

(1) 思考力・判断力・表現力等日常生活で活用する能力の育成

相当数の児童ができている (おおむね80%以上)	課題があると考えられる (おおむね60%未満)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との触れ合いや団らんを楽しむための工夫や、近隣の人々とのかかわりを考えた家庭生活の工夫 ・ 材料や目的に応じた野菜のいため方の工夫 ・ 場面・季節に応じた日常着の着方の工夫 ・ 物や金銭の計画的な使い方や目的に合った物の選び方の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養のバランスを考えた1食分の献立の工夫 ・ 製作する物に必要な布の大きさの工夫 ・ 環境に配慮して物(食品)を無駄なく使うための工夫や、使い終わった物を再利用するための工夫

(2) 日常生活で活用する能力を高める上での基礎・基本の習得

相当数の児童ができている (おおむね80%以上)	課題があると考えられる (おおむね60%未満)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の仕事と分担に関する知識・理解 ・ 食事の役割(マナー)に関する知識・理解 ・ 衣服の働きや手入れ、整理・整頓や掃除に関する知識・理解 ・ 購入する物の選択に関する知識・理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の一員として協力することへの関心 ・ 食品の栄養的な特徴、材料の洗い方、我が国の伝統的な日常食である米飯とみそ汁の調理に関する知識・理解 ・ 縫いしろやゆとりの必要性、ミシンなど製作に必要な一部の用具の使い方に関する知識・理解

2. 今回の改訂で新設、学年及び学校を越えて移行した事項

相当数の児童ができている (おおむね80%以上)	課題があると考えられる (おおむね60%未満)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮して物(文房具)を長く大切に使うための工夫【新設:5,6年】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体に必要な栄養素の種類と働きに関する知識・理解【移行:中1,2,3年→5,6年】

3. 従来より課題と指摘される事項や経年比較等の観点から把握・分析が必要な事項等

相当数の児童ができている (おおむね80%以上)	課題があると考えられる (おおむね60%未満)
<ul style="list-style-type: none"> ※ 特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包丁の安全な取扱い方に関する知識・理解【従来より課題】

G-2. 指導上の改善点(家庭)

1. 家族の一員として協力することへの関心と生活時間の使い方の工夫

- ・ 家庭の仕事と分担については、家族を大切にする意識を高めるため、指導の充実が引き続き必要。
- ・ 生活時間を工夫し家族に協力することについては、家族が協力し合うことで家庭生活が円滑に営まれることに気付かせるとともに、家族に協力することへの関心を高める指導を工夫することが重要。家庭との連携を図る指導を工夫することも必要。

2. 栄養・調理に関する基礎的・基本的な知識・理解と1食分の献立の工夫

- ・ 体に必要な栄養素の種類と働きについては、五大栄養素の体内での主な働きに関する知識・理解を確実にするための指導を工夫することが重要。
- ・ 食品の栄養的な特徴については、特に、体内で「主にエネルギーのもとになる」、「主に体をつくるのもとになる」グループの食品の区別を理由と共に理解させる指導を工夫することが重要。
- ・ 調理の基礎については、身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能を明確にし、適切な食品を選択して実習題材を設定することが重要。また、問題解決的な学習を取り入れ、なぜそのように調理するのかを実感を伴って理解できるよう、指導を工夫することが重要。
- ・ 1食分の献立については、献立の栄養のバランスを確認する方法を理解させ、課題のある献立をよりよい献立に修正できるよう、指導を工夫することが重要。

3. 製作に関する基礎的・基本的な知識・理解と快適な衣服の着方や住まい方の工夫

- ・ 生活に役立つ物の製作については、縫いしろやゆとりの必要性を理解させることにより、製作する物のでき上がりをイメージして布の大きさを考えられるよう、指導を工夫することが重要。また、ミシンの使い方の手順やまち針を使う必要性を考えさせたり、繰り返し体験させたりすることが重要。
- ・ 快適な衣服の着方の工夫については、着方と住まい方を関連させた指導の充実が引き続き必要。
- ・ 快適な住まい方の工夫については、日光の暖かさなど自然の力を生かす方法を考えさせる指導を工夫することが必要。

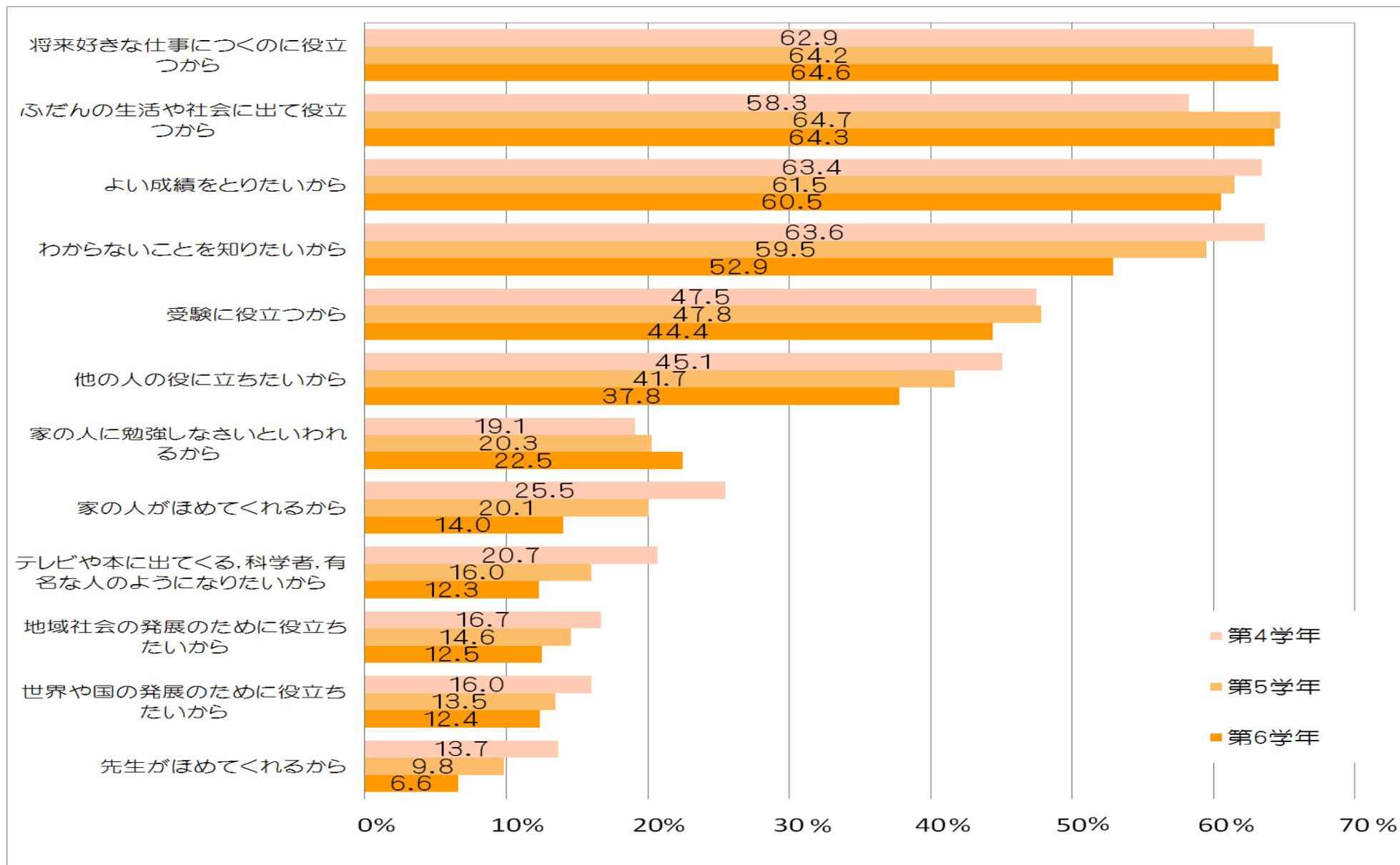
4. 購入する物の情報を収集・整理する技能と環境に配慮した生活の工夫

- ・ 購入する物の選択については、表示やマークなどの情報を収集・整理する活動を充実させることが重要。
- ・ 環境に配慮した生活の工夫については、調理や製作など、衣食住の内容との関連を図り、物の無駄のない使い方や使い終わった物の再利用について具体的に実践し、発表し合うなどの指導を工夫することが重要。

小学校学習指導要領実施状況調査 質問紙調査結果のポイント（児童質問紙）

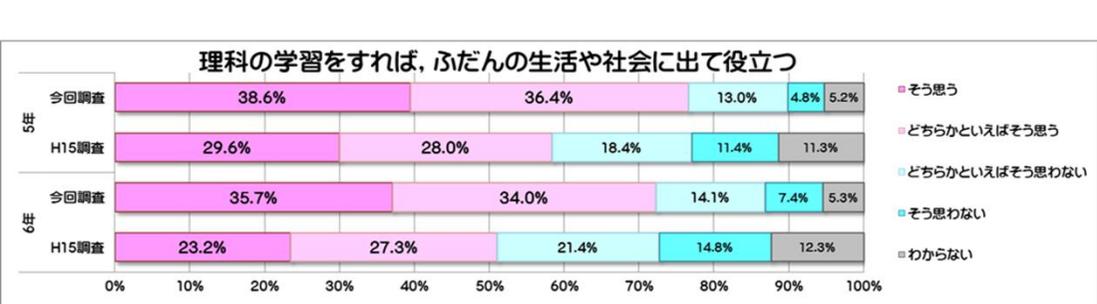
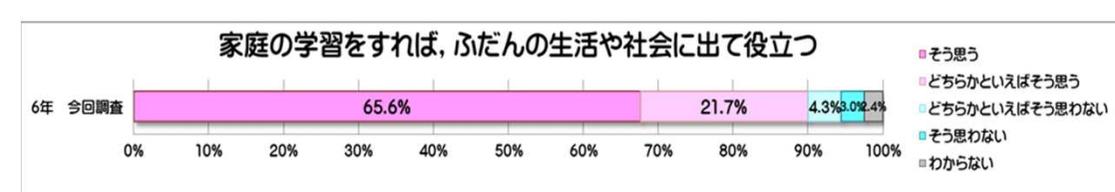
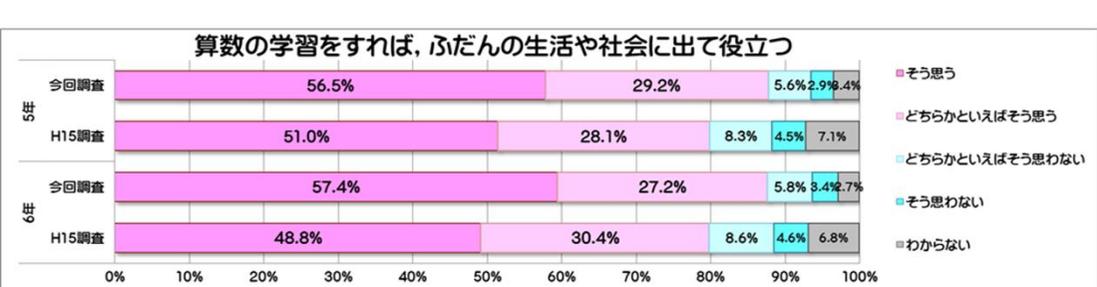
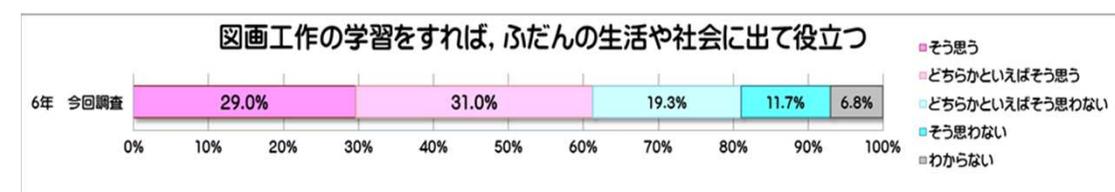
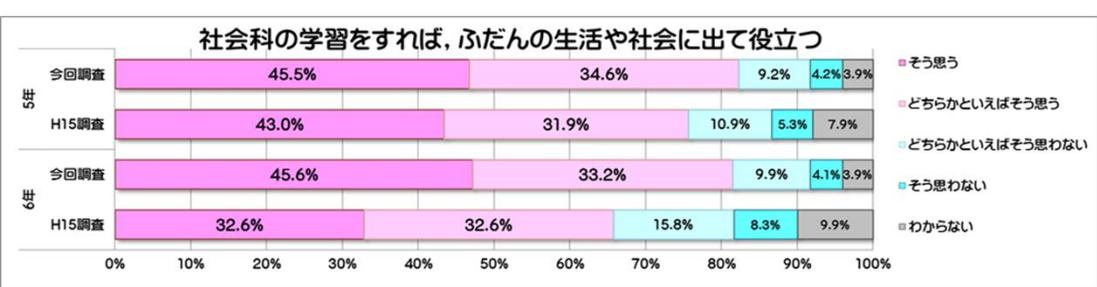
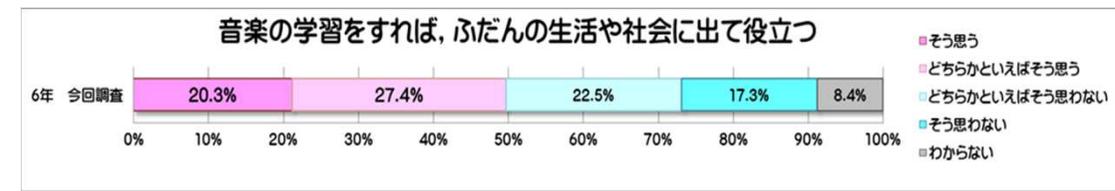
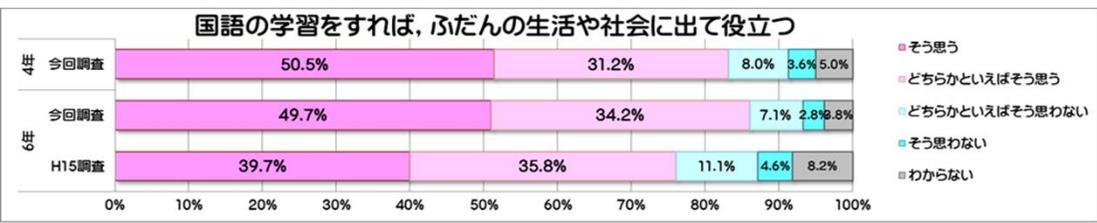
○ 学習する目的について、「将来好きな仕事につくのに役立つから」と回答した児童の割合は、どの学年においても60%以上

◇ ふだん何のために、勉強をしていますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）



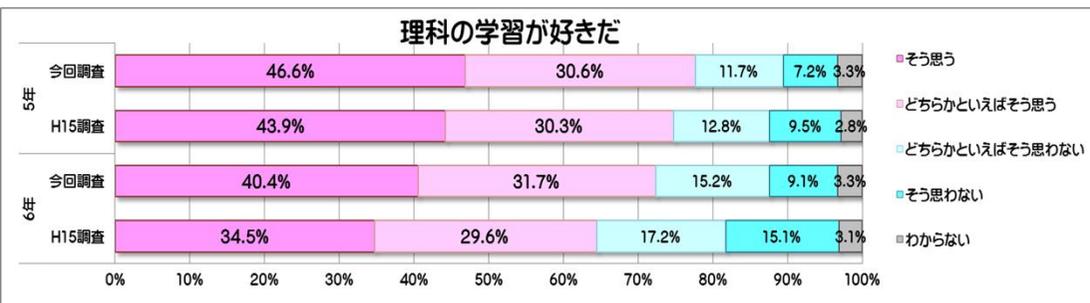
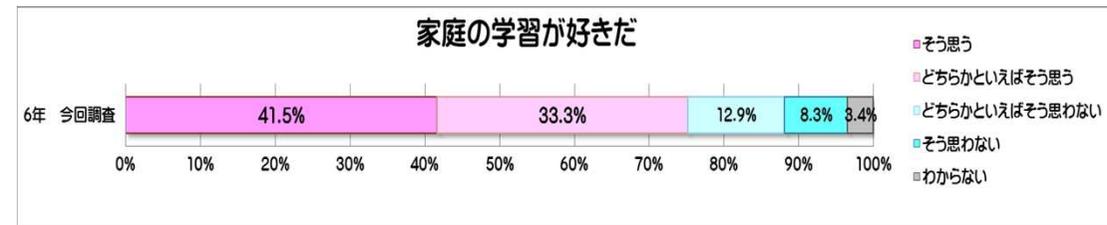
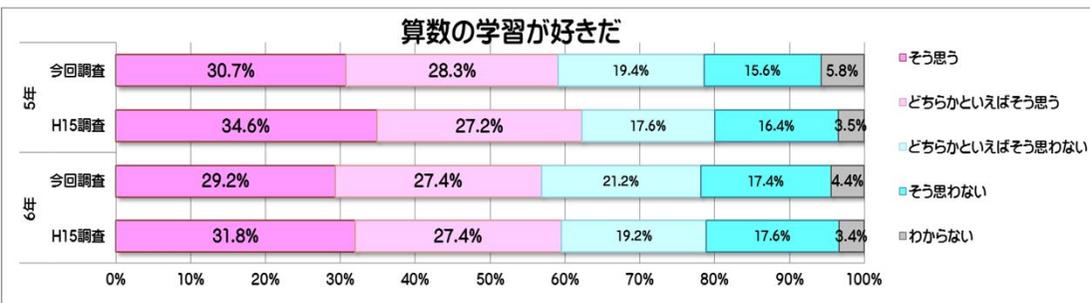
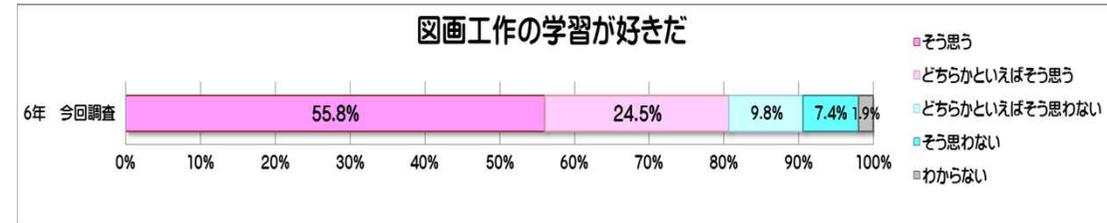
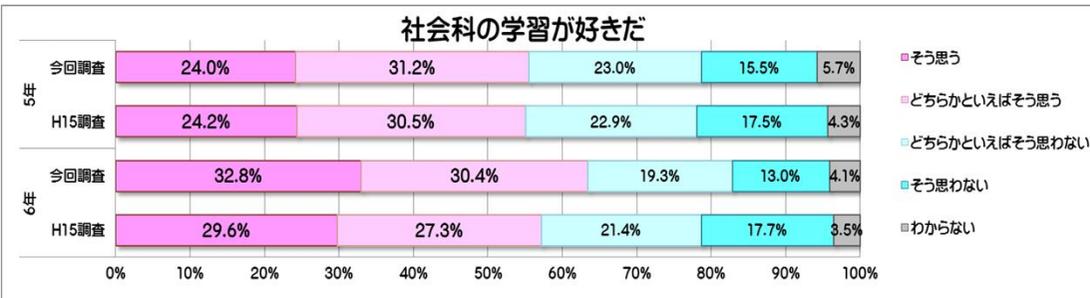
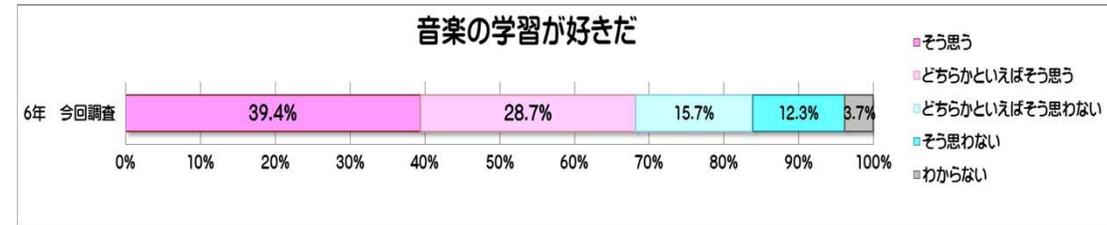
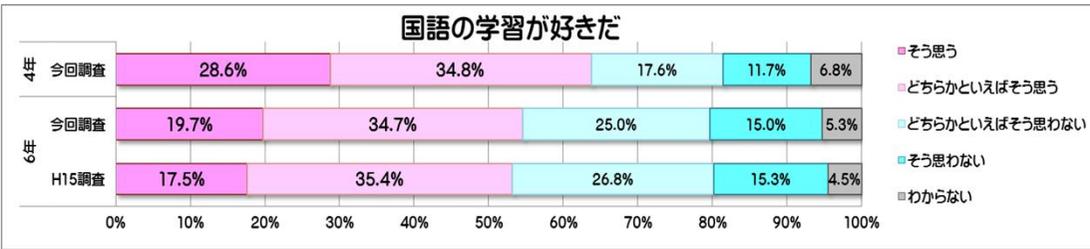
小学校学習指導要領実施状況調査 質問紙調査結果のポイント（児童質問紙）

○ 各教科の「学習をすれば、ふだんの生活等役に役立つ」という質問について、前回調査(H15)と比べ、多くの教科・学年において、児童の肯定的な回答の割合が高くなっている。



小学校学習指導要領実施状況調査 質問紙調査結果のポイント（児童質問紙）

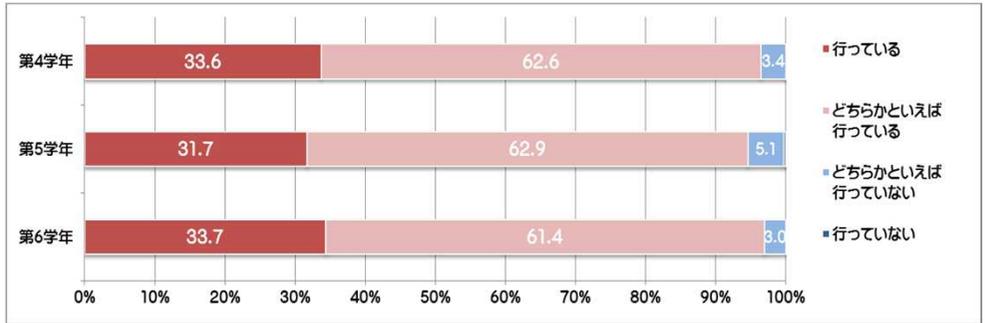
○ 各教科の「学習が好きだ」という質問における、児童の回答の割合



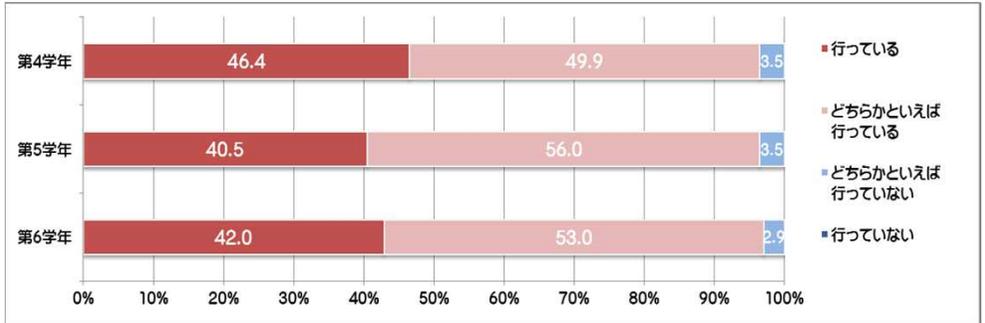
小学校学習指導要領実施状況調査 質問紙調査結果のポイント（教師質問紙）

○ 学習指導要領改訂の基本方針を意識して授業を「行っている」又は「どちらかといえば行っている」と回答した教師の割合がどの学年においても90%以上

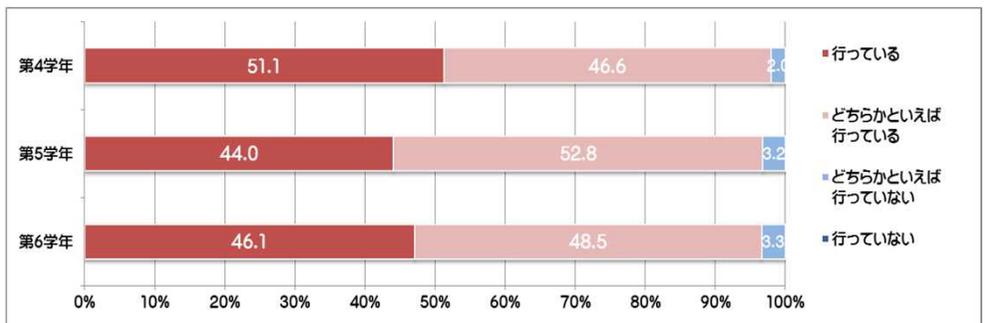
◇ 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等を育成する観点からバランスを重視して授業を行っていますか。



◇ 主体的に学習に取り組む態度を養うことを意識して授業を行っていますか。

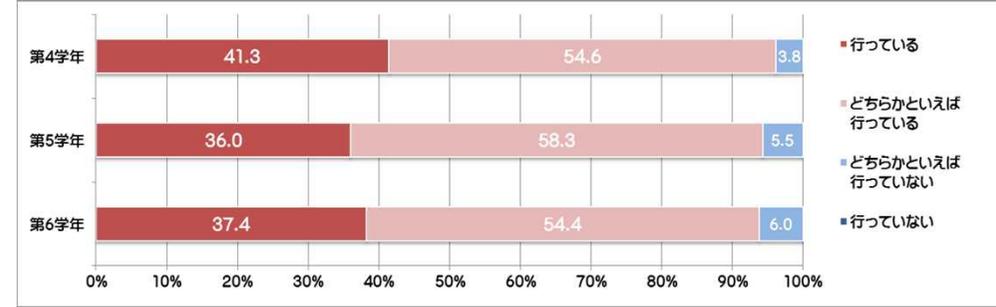


◇ 豊かな心や健やかな体を育成することを重視して授業を行っていますか。



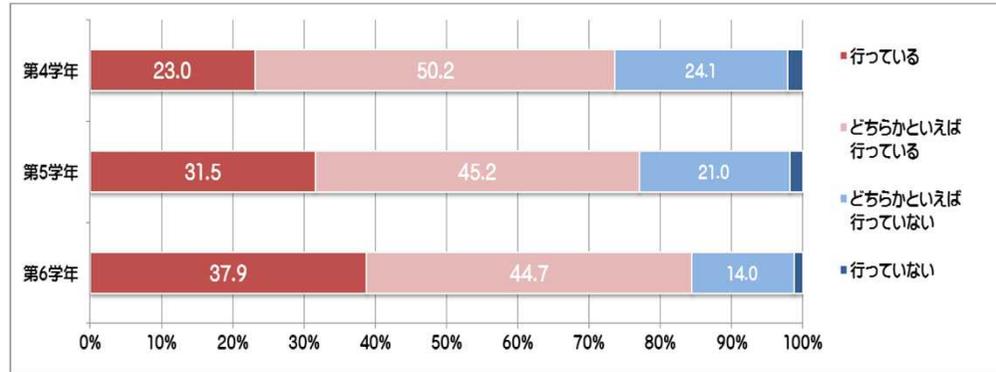
○ 言語活動を重視して授業を「行っている」又は「どちらかといえば行っている」と回答した教師の割合がどの学年においても90%以上

◇ 思考力・判断力・表現力の育成を図る上で必要となる言語活動を重視して授業を行っていますか。



○ 中学校における学習へのつながりを意識した指導をしている教師の割合が、学年が上がるにつれて高くなる傾向

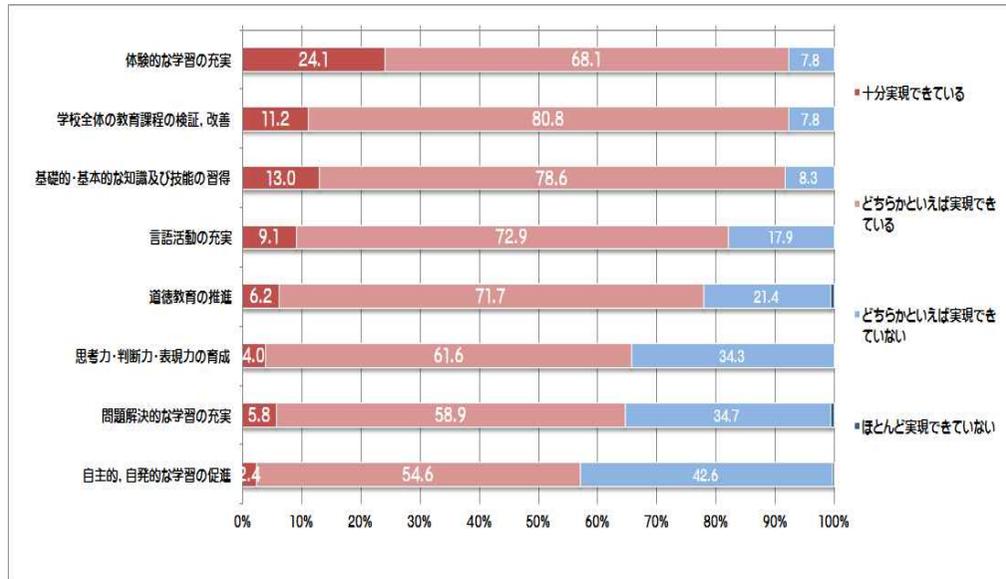
◇ 日々の学習における指導内容が、中学校における学習にどのようにつながっていくのかを意識しながら指導していますか。



小学校学習指導要領実施状況調査 質問紙調査結果のポイント（学校質問紙）

- 「体験的な学習の充実」、「学校全体の教育課程の検証・改善」、「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」の3項目については、90%以上の学校が「実現できている」と回答
- 「思考力・判断力・表現力の育成」、「問題解決的な学習の充実」、「自主的・自発的な学習の促進」の3項目については、30%以上の学校が「ほとんど実現できていない」又は「どちらかといえば実現できていない」と回答

◇ あなたの学校では、次の8項目についてどの程度実現できていると思いますか。最も近いと思う番号に○を付けてください。



- 家庭や地域社会との連携については、95%以上の学校が肯定的な回答

◇ あなたの学校では、家庭や地域社会と連携しながら、地域人材を活用した授業を行ったり、学校外の団体等と連携した授業を行ったりしていますか。

